

アグリノート菜園 ^{プラス} 【おうち栽培支援】 秋どり キュウリ栽培情報

キュウリといえば、夏野菜の代表であり、みずみずしさと歯切れの良さで夏の食欲がそそられますが、時期をずらして栽培することで夏だけでなく秋まで収穫を楽しむことができます。

北陸地方も梅雨明けが発表されました。この先、今まで以上に厳しい暑さが続き猛暑になる日もあると思いますので、引き続き万全の熱中症対策を行いましょう。

1. 秋キュウリ栽培暦

8月			9月			10月			11月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下

圃場準備

植付け

栽培管理

収穫



【品種名】 夏すずみ（タキイ種苗）

- べと病、うどんこ病、褐斑病、モザイク病に強い！
- 高温期でも栽培が安定し、栽培が簡単！

2. 栽培のポイント

キュウリは根の酸素要求量をもっとも大きい野菜なので、良質の堆肥を十分に施し、生育がたいへん早いので、誘引、摘心を遅れずに。肥料きれさせないように追肥を念入りにします。

① 畑の準備

【植付け2～3週間前】

1㎡あたり、100～150gの石灰を畑全面にまいてよく耕します。

【植付け1週間前】

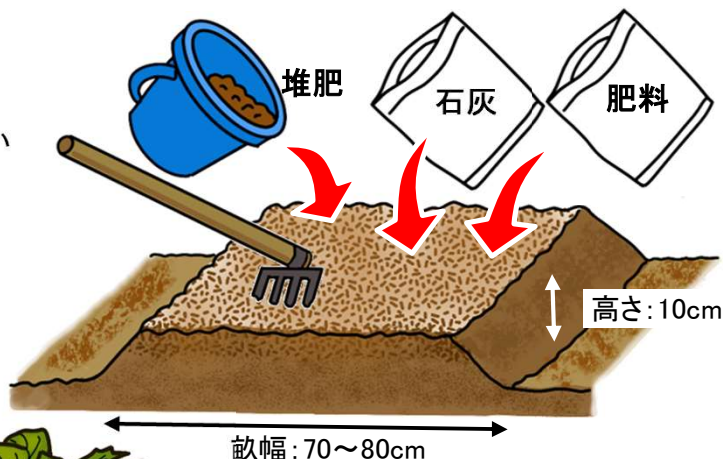
1㎡あたり堆肥を2～4kg、化学肥料を100～150g施してよく耕します。

【畝立て】

高さ10cm、幅70～80cmの畝を作ります。

【マルチフィルム】

必ずしも必要ではありませんが、使用することで、雑草の防止・土の水分保持・雨水の跳ね上がりを防止でき、べと病感染の予防効果も期待できます。



② 植付け

本葉が2～3枚まで育苗を行ったら、畑に定植を行います。株間40～50cmで穴をあけ、植え穴に水をたっぷり注ぎます。穴に注いだ水が引いたら、苗を定植します。定植後かき土をかぶせ、株元を軽く押さえます。

キュウリはつるが伸びるため、定植後に支柱(ネット)を設置する必要があります。キュウリのつるが伸び始めたら、支柱に沿って誘引します。

